



浴風会病院

No. 30

2015 年 4 月号

医療連携ニュース

医療連携室

新年度を迎え

院長 吉田 亮一



平成 26 年 10 月より高齢者保健医療総合センターが、新病院と老健くぬぎの合築でスタートしており、平成 27 年 6 月末には旧病院の解体および外構工事も終了する予定です。今年は浴風会創立 90 周年を迎え、新病院としても本格的に始動する年と位置付けています。

病院としては地域包括ケア病棟の新設、回復期リハ病棟の増床、訪問事業（診療・看護・リハビリ）や認知症疾患医療センター、認知症早期発見・早期診断促進事業としてのアウトリーチチームなど前年度からの重点事項を、本年度はさらに充実・強化を図る方針です。アウトリーチ事業につきましては、杉並区に加え、新宿区、中野区とも協定締結を終え、地域に向けて本格的に稼働し、認知症の早期診療に繋げていきます。

また、他の医療機関との連携では、当院の各病棟のそれぞれの機能を十分に発揮させ、これまで以上に内容の濃い情報提供をおこない、より迅速な医療連携を心がけるつもりです。

さらに新病院の機能としては、CTやMRIなどの医療機器も更新しており、それらを駆使することで、診療の向上を図ります。また、従来から当院が力を入れている、日本脳ドック学会認定施設としての脳ドックに関しましては、新たなMRI装置にて通常の外来診療より時間をかけ、多くの撮像を実施します。それにより脳血管障害や認知症の予防を視野に、丁寧な説明、報告を行ってまいります。

このように新病院のスタートを機に、各事業の充実・強化を図り、より多くの皆様のニーズに応えられる病院の構築をめざして行きたいと考えております。



まだ工事は続きますが、今年も綺麗に桜が咲きました。新病院をバックに、パチリ

～今月号の記事内容～

- ・新年度を迎え
- ・認知症疾患医療センター連携協議会報告
- ・城西地区認知症疾患カンファレンス報告
- ・外来担当医表 など

浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター 平成 26 年度 第 3 回 連携協議会について

浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター
医療相談・支援室 PSW 高橋 智哉

平成 27 年 3 月 11 日(月)、浴風会病院東京都認知症疾患医療センター(以下、当センター)にて、平成 26 年度第 3 回連携協議会が開催されました。現在、都内に 12 か所ある認知症疾患医療センターが、平成 27 年度は「地域拠点型認知症疾患医療センター」という機能に変わり、また各区市町村に「地域連携型認知症疾患医療センター」が新たに整備される予定です。当センターの平成 27 年度事業計画の報告と、各地域における認知症施策の動きを参加委員よりご報告いただきました。協議内容は以下の通りとなっています。

① 実績報告

東京都提出用実績報告から、平成 26 年度の当センター事業を振り返り、平成 27 年度の事業計画に向けた課題抽出と整理を行いました。認知症相談・物忘れ外来の待機日数が 2 ヶ月となっており、予約枠を年度の途中から増やしたものの、待機日数減にはつながっておらず、認知症における受診の要望が非常に高い現状を報告しました。

次年度は、当院で対応したケースを如何にして地域に戻すかが課題としてあげられ、各地域内のサポート医との連携の重要性が話し合われました。

② 認知症早期発見・早期診断推進事業について

認知症早期発見・早期診断推進事業においては、昨年 10 月より中野区と協定を結び、区西部全域で本事業を開始しました。具体的にアウトリーチチームとして介入したケースから、杉並区は精神症状やゴミ屋敷などの困難ケース、中野区は関係機関側の支援方法の見直しのためのカンファレンスケース、新宿区は依頼件数が少なく区内で解決が図られている状況等、それぞれのケースに見られる特徴を報告。

また、平成 27 年度より各區で整備予定の認知症初期集中支援チームの動きも委員より報告頂き、本事業とのケースの振り分けをどうしていくかについて話し合われました。

③ 平成 27 年度当センター事業計画について

平成 27 年度の新たな取り組みとして、かかりつけ医・サポート医認知症対応力向上研修の開催も組み込まれ、また前年度より行っていた看護師認知症対応力向上研修と多職種協働研修も引き続き行われることから、この研修事業を開催する際の課題を委員よりご意見いただきました。既にこれらの研修会は、同じような内容で、各地域で開催されていることから、新たな開催に関してはそれぞれの区と要相談という形となりました。

連携協議会については、平成 27 年度は地域連携型認知症疾患医療センターからの委員もメンバーとして参加いただく事が必須となります。しかし、地域連携型認知症疾患医療センターの指定は 10 月の予定であり、年度の途中から委員が増える形を委員全員で確認しました。

平成 27 年度の当センター機能はより地域に根ざした内容となり、地域の認知症にかかる問題に手厚く関わらせて頂くことが可能となります。

また研修事業も増え、専門職における認知症対応力向上に向けた取り組みも、皆さまの協力を頂きながら、各地域での開催を考えております。

これらの事業遂行にあたっては、地域の関係機関の皆様との連携がとても重要であり、積極的な連携・支援体制の整備に今後も務めて参りたいと考えております。

今後とも当センター事業に関しまして、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



城西地区認知症疾患カンファレンス開催のご報告

平成27年3月11日(水)に城西地区の診療所などの先生方にお越しいただいて、カンファレンスを開催いたしました。

講演1 『認知症の早期発見、早期治療の重要性』

浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター長 古田 伸夫

要旨： 認知症の早期発見・早期治療を行うこと目的としては、ご本人様自身の生活維持、ご家族介護者の生活維持のために重要。早期発見のポイント、早期治療法の種類等の具体的な説明がありました。

講演2 『認知症の一剖検例(CPC)』

浴風会病院 副院長 伊藤 嘉憲

要旨： 認知症にはアルツハイマー病だけではなく、血管性認知症、Lewy小体型認知症、前頭側頭型認知症など、多数の疾患が含まれています。しかし、認知症を正確に診断することは必ずしも容易ではなく、臨床診断と最終診断である病理診断が食い違うことは少なくありません。101歳の超高齢の患者様の臨床・病理所見を通して、認知症診断の難しさについての討論を行いました。

ご多忙の中、ご参加いただきました先生方皆様、誠にありがとうございました。とても興味深かったと好評をいただきました。今後も引き続き実施していく予定ですので、どうぞ宜しくお願い致します。



平成26年度 石井基金活動発表会

「石井基金」とは、児童文学作家・翻訳家である石井桃子先生より浴風会病院へ寄付金をいただき設立されたもので、浴風会病院スタッフの研究などの活動の助成に用いられ、毎年多くの研究が成されてきています。

今年は以下のような9つの研究発表が病棟看護師、病棟ケアワーカー、リハビリテーション科作業療法士、言語療法士、栄養管理室からありました。

1. 安全面を十分に考慮した上でのADL維持向上を臨める環境
2. 身体拘束解除に向けた有効なケアとは
3. より安全な看護の提供
4. 拘縮のある患者のポジショニング用クッションの開発
5. 四肢拘縮の患者の手浴足浴に適した用具の開発
6. 保湿に関する軟膏選択基準の作成
7. 当院入院患者におけるD-CAT検査結果とADLの関連について
8. 高齢者の呼称機能2
9. 形あるミキサー食への取り組み



各チームより、さまざまな実例を通じた発表があり、研究を通して質の高いケアを目指すスタッフの気持が伝わってくる研究発表会となりました。

外来担当医表 (平成27年)

診療科		月	火	水	木	金	土
初診外来 (内科)	午前	初めて内科を受診される方は初診外来にお越し下さい。 受付時間 午前8:30~11:00 (月~金)					
内科	午前	秋山★ 小出 海野★	山岡 伊藤★ 渡辺★	八田★ 雨宮★	吉田院長★ 市岡★ 八田★	伊藤★ 任	担当医
	午後	吉田院長★ 青木 雨宮 認知症相談) 市岡 もの忘れ外来)	渡辺 もの忘れ外来)			袖山 認知症相談) 任 もの忘れ外来)	
★…神経内科							
神経内科	午前	※吉田院長					
	午後		袖山				
循環器内科	午後		柴田		小出		
呼吸器内科	午前					中川	
代謝内科 (糖尿病)	午後				佐々木		
精神科	午前	梶浦 認知症相談)	古田 認知症相談) 梶浦	須貝	古田	須貝 再診)	
	午後	古田 認知症相談)		須貝		須貝 認知症相談 物忘れ外来)	
整形外科	午前	宮沢		宮沢		宮沢	
眼科	午前	酒井	酒井	酒井	酒井	酒井	
	午後	酒井 予約検査)	酒井 予約検査) 第2・第4のみ)	手術日		※酒井 予約検査)	
歯科	午前	中野	中野		中野	中野	中野 第1.3のみ)
	午後	中野	中野		中野	中野	



病院 外来のご案内

再診予約のある方

…予約時間前に再来受付機へ診察券を通して下さい。

初診または再診予約のない方

…午前 11 時までには初診受付へ直接お越し下さい。



MRI・CT・骨密度測定検査

ご希望がある場合は、ご連絡の上、ご予約をお取り下さい。ご希望の日時と受け入れ可能な日時を調整し、予約の受付を行います。

放射線科 03-5370-5032

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

交通のご案内



高齢者保健医療総合センター
浴風会病院
老人保健施設くぬぎ

【京王井の頭線】
●「富士見ヶ丘駅」より徒歩7分
●「高井戸駅」より徒歩9分
※高井戸駅より無料送迎バスあり

【荻窪駅南口より関東バス】
「芦花公園駅行」
「北野行」
浴風会前下車

発行元： 浴風会病院

医療連携室

〒168-8535

東京都杉並区高井戸西 1-12-1

Tel 03-3332-6511

Fax 03-3332-7671

URL <http://www.yokufu-hp.jp/>